令和４年度　揖斐川町役場の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量算定結果

揖斐川町役場における令和４年度の温室効果ガス排出量

７，０４８t-CO_2

基準年度２年度と比較して温室効果ガス排出量、４０５．３トン、６．１％の増加となりました。

温室効果ガス排出量

排出源		活動量		二酸化炭素			
		使用量	単位	排出係数 (kg-C02/単位)	排出量(t)		
					４年度	基準(２)年度	増　減
燃料使用量	ガソリン	97,294	L	2.322	225.9	243.5	△17.6
	軽油	98,520	L	2.585	254.7	158.2	96.5
	灯油	347,506	L	2.489	864.9	849.0	15.9
	Ａ重油	56,771	L	2.710	153.8	190.4	△36.6
	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ	95,878	Kg	2.999	287.5	275.4	12..1
	炭	0	Kg	2.328	0	0.0	0.0
電気使用量		11,718,249	KWh	0.449	5,261.5	4,926.6	344.9
温室効果ガスの総排出量					**7,048.4**	**6,643.1**	**405.3**

排出源		二酸化炭素排出量	
		４年度(t)	割合（%）
燃料使用量	ガソリン	225.9	3.2
	軽油	254.7	3.6
	灯油	864.9	12.3
	Ａ重油	153.8	2.2
	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ	287.5	4.1
	炭	0.0	0.0
電気使用量		5,261.5	74.6
温室効果ガスの総排出量		7,048.4	100.0

温室効果ガスの発生源としては、電気が 74.6%を占めています。

本町の事務・事業における温室効果ガス排出量の、部門別の内訳は、以下に示すとおりです。

部門別温室効果ガス排出量

項目	年度	使用量							排出量	増減
		ガソリン（L）	軽油（L）	灯油（L）	A重油（L）	ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ（Kg）	炭（Kg）	電気（KWh）	（t-CO２）	（t-CO２）
庁舎等	4	31,326	657	17,739	8,000	17,079	0	920,372	604.7	△11.0
	2	29,174	1,392	23,631	10,000	18,093	0	937,728	615.7	
交通機関	4	42,369	73,142	0	0	0	0	0	287.5	73.6
	2	53,481	34,720	0	0	0	0	0	213.9	
農林観光施設	4	4,202	1,446	278,511	5,271	30,020	0	2,325,411	1855.1	265.5
	2	5,113	681	280,815	0	23,818	0	1,869,130	1,589.6	
廃棄物処理施設等	4	0	4,027	818	0	0	0	13,509	18.5	△1.0
	2	0	4,165	1,182	0	0	0	13,413	19.5	
福祉施設	4	12,408	12,089	12,351	40,000	20,377	0	940,459	682.6	△44.4
	2	11,121	13,227	12,298	54,000	23,852	0	970,982	727.0	
病院等	4	5,117	0	7,309	3,500	15,675	0	260,732	203.6	△18.2
	2	4,056	0	10,261	6,250	15,394	0	287,178	221.8	
上下水道施設	4	0	60	0	0	0	0	4,287,803	1,925.4	△66.8
	2	0	0	0	0	0	0	4,622,206	1,992.2	
教育機関	4	1,193	7,045	4,401	0	5,603	0	2,083,483	984.2	△76.1
	2	1,503	6,960	5,883	0	5,910	0	1,982,082	908.1	
社会教育施設	4	679	54	26,377	0	7,124	0	886,480	486.8	131.5
	2	407	70	7,044	0	4,757	0	747,860	355.3	
合計	4	97,294	98,520	347,506	56,771	95,878	0	11,718,249	7,048.4	405.3
	2	104,855	61,215	341,114	70,250	91,824	0	11,430,579	6,643.1	

※コロナ対策により令和２年度は施設の使用制限があったが、その後、利用条件が緩和されたことで、特に交通機関、農林観光施設、社会教育施設の利用頻度が増加し、その結果、軽油（ふれあいバス増便分）、灯油（揖斐川健康広場等使用分）、重油（かすがモリモリ村）、ＬＰＧ（揖斐川健康広場等使用分）、電気（春日基幹集落センター等使用分）の使用量が増加した。